

# 明日香における歴史展示の推進 ～明日香における歴史展示等のあり方「基本方針」～

## 現状

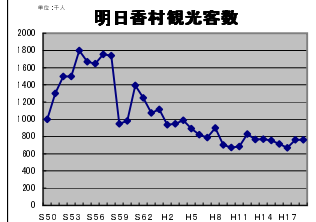
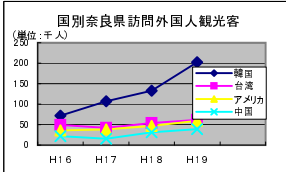
明日香の価値は、“**国家基盤が形成された地**”であるという「**歴史**」そのものにあるが、誰もが歴史を体感できる状況ではない。

価値あるものが地下に埋もれており、来訪者にとって明日香の意義や歴史がわかりにくい

「歴史物の展示」はあっても、「歴史の展示」が不十分

東アジアから奈良を訪れる観光客は増加傾向にあるが、現地において東アジアとの“ゆかり”に関する情報が乏しい

観光客数が昭和50年代の年間180万人をピークに、現在は80万人前後で低迷



「明日香における歴史展示等のあり方基本方針」の作成と実施

## 奈良県が主体となり明日香の価値である「歴史」そのものを展示する ～国内外、特に東アジアからの来訪者にも分かりやすい歴史展示を進める～

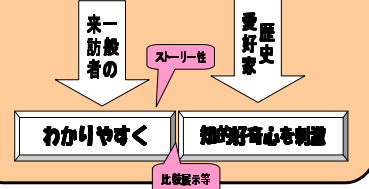
### 歴史展示の内容

展示する歴史の**テーマ**を設定し、テーマに即した**人物**(語り部あるいは中心人物)により、ストーリー性を持った展示内容とし、具体的には、**万葉文化館等**において、映像や音声等を用いわかりやすく解説する。

### テーマ設定 (語り部)

- 飛鳥の通史 (太安万侶)
- 国家の源流 (藤原不比等)
- 仏教の伝来と興隆 (道昭)
- 東アジア文化の受容と変容 (南淵請安)

### テーマ設定



### ネットワーク構築



明日香における歴史展示の現状と将来像の概念図

※破線: 動線 矢印: 人の流れ

### 展示施設の役割分担 [ (仮称) 飛鳥歴史文化館 ]

県立万葉文化館を「**飛鳥歴史文化館**」と改称し、「**歴史の総合展示施設**」とするとともに、「**明日香のゲートウェイ**」と位置づけ所要の整備を行う



奈良県立万葉文化館

### 遺跡の復原整備

飛鳥京跡苑池等の飛鳥時代における重要遺跡を復原する

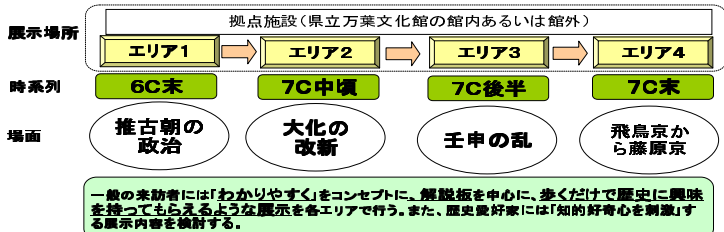


飛鳥京跡苑池 (H11発掘説明会での様子)

飛鳥京跡苑池イメージ図 (奈良県立橿原考古学研究所作成)

### 明日香歴史回廊

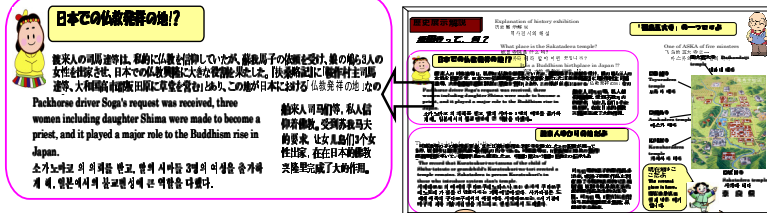
～歩いてわかる明日香の歴史～ 県立万葉文化館を中心に、明日香の歴史テーマを回廊形式で展示する



一般の来訪者には「わかりやすく」をコンセプトに、解説板を中心に、多くだけで歴史に興味を持ってもらえるような展示を各エリアで行う。また、歴史愛好家には「知的好奇心を刺激」する展示内容を検討する。

### 寺院・遺跡等における歴史展示

「歴史」の解説板の整備。イラストや写真等を使用。日本語・英語・中国語・ハングルの4か国表記を基本とする



歴史解説板のサンプル

## 目指すもの

歴史展示の推進により明日香の価値を高める

明日香における歴史的風土の維持・向上を図る

明日香における賑わいの形成を図る

明日香＝中南和観光の拠点

明日香を拠点に桜井・吉野・宇陀地域等へ

明日香での歴史展示を奈良全体に展開し、**明日香・奈良の魅力向上**  
歴史展示拠点 北…奈良エリア、南…明日香

ポスト1300年祭における**奈良の観光力の向上**